



Contents

- 1 学長年頭所感
- 2 不動産鑑定士合格インタビュー
- 3 歯学部交換研修プログラム
- 4 海外諸国との活発な交流活動が行われる
- 5 第32回明海祭
- 6 明海大学あけみ英語村2019
- 7 明海スポーツ
- 8 オープンキャンパス開催報告

学長年頭所感

明海大学創立50周年を迎えて

学長 安井利一

2020年子年の新年を迎えました。明海大学の学生と教職員の皆様、そして同窓会、教育後援会をはじめ明海大学を支援して下さる多くの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今年は明海大学が創立50周年を迎える特別な年になります。そして東京でのオリンピックとパラリンピックが開催されるという記念すべき年になります。半世紀を生き抜いてきた明海大学が次の半世紀をどのように生きていくのかは

私たちに課せられた大きな使命です。1970年に宮田慶三郎先生が埼玉県坂戸市に城西歯科大学を開設し、その後、1988年に浦安キャンパスを設置してからは宮田侑前理事長（現相談役）の堅実な指導を受けて、現在の基礎と発展の礎を築いてきました。そして、現在の宮田淳理事長にバトンタッチされてからはアクティビティの高い、そして速さのある改革が次々となされています。

今年の4月から、明海大学浦安キャンパスでは新たな取り組みが始まります。一つは、初年次教育の柱である「学修の基礎」をキャンパスのすべての学部学科の学生と一緒に、すべての教員が対応するものとします。浦安キャンパスに入学した学生は浦安キャンパスのすべての教職員が育て上げるという意識改革です。他大学では実行したくてもなかなか

できないことですが、50年の夢の実現の一つです。二つ目は昨年、不動産学部3年生が不動産鑑定士試験に合格し、続いて我が国唯一の不動産研究センターにて実務修習を受けて卒業までに不動産鑑定士になる道筋ができたことを機会に、6学部8学科に成長した各学部学科並びに教職課程センターや別科を含めて教育力の可視化を明確にすることです。歯学部を筆頭に積極的な自己実現を図る教育システム改革を実施します。また、体育会女子バレーボール部もさらなる躍進に向けて、スポーツにおいても自己実現を図るような指導体制を組みたいと思います。ホスピタリティ・ツーリズム学部のグローバル・マネジメントメジャーも次年度には初めての卒業生を出します。建学の精神にある国際未来社会で活躍する人材の育成にさらなる努力をいたします。浦安キャンパスも坂戸キャンパスも、とにかく大学として内部質保証の時代を率先垂範する教育機関であり続ける力強さを持って臨みたいと思います。今年もまた教職員全員の力を結集するとともに、教職員一人ひとりが素晴らしい年になるよう努力します。



安井利一学長

不動産鑑定士
合格インタビュー

世界を視野に入れたキャリアをめざす

不動産学科3年生の靄島三弥さんが、今年度の不動産鑑定士試験に見事合格した。

「不動産鑑定士」とは、土地や建物といった不動産の適正な価値を鑑定する専門家である。弁護士・公認会計士と並ぶ文系三大難関資格のひとつで、例年の合格率は、1次試験短答式30%、2次試験論文式15%、最終合格率5%程度。

靄島さんは、昨年12月から実務修習を行い、修了考査に合格することによって、晴れて不動産鑑定士になることができる。本学不動産研究センターは、実務修習認定機関となっているため、靄島さんは大学の施設で受講することができる（1年または2年間コースがあるが、靄島さんは1年間コースを選択）。

不動産鑑定士試験は社会人として

働きながら受験し、実務修習を受講するというケースがほとんどであるが、本学では、在学中に不動産鑑定士になることをめざす充実したカリキュラムや指導体制のほか、実務修習認定機関も備えている。

本人にインタビューしたところ「在学中に合格することを目標として日々勉強していたので、実現できて嬉しい。明海大学では、鑑定・法律・会計・経済などの不動産鑑定に必要な専門知識を横断的に学ぶことができ、効果的だった。今後は不動産鑑定士をめざす後輩の支援をしたい。また、英語学習にも力を入れ、RICS（1868年にイギリスで設立され、土地・不動産・建物分野



合格証書を手にする靄島三弥さん
において屈指の伝統と権威を誇る国際的な職業専門家団体)の会員となり、世界を視野に入れて今後のキャリアを考えたい」と語ってくれた。

明海大学不動産学部は、これからもきめ細かい学修支援を通じて、高度職業人を育成していく。

教員採用 試験結果

令和元年度教員採用試験(令和2年度採用)に12人が合格!

令和元年度に行われた教員採用試験(令和2年度採用)に、本学の学生および卒業生12人が合格した。

本学では、1990年から外国語学部で中学校および高等学校の国語、英語、中国語の教員免許状を取得することができる教職課程を設置して教

員養成に力を入れ、多くの優れた教員を社会に送り出してきた。こうした取り組みをさらに推進するため、2016年に「教職課程センター」を設置、2018年には同センターをリニューアルし、免許状の取得に必要な教職課程の履修、教育実習、教員

採用試験、赴任後に求められる授業実践力など、教職に関するさまざまな課題をトータルにサポートしている。センターの設置から4年、本学の教員採用試験の合格者数は着実に伸びており、教員をめざす学生の夢を強力にバックアップしている。

千葉県教員採用試験の中学校・高等学校(英語)に合格した佐藤みゆきさん(英米語学科4年)からは「私は教員採用試験を通して2つのことを学んだ。一つ目は、自分に合った勉強法を見つけることの大切さで、勉強の効率が上がり、無駄な時間がなくなった。二つ目は、切磋琢磨し合える仲間の大切さで、一緒に勉強を頑張る仲間がいるからこそ、辛い期間も乗り越えられたと思う。常にサポートしてくださった先生方への感謝の気持ちを忘れずに4月から頑張りたい」と、喜びの感想が聞かれた。

明海大学は、今後も優秀な教員を社会に送るための努力を続けていく。



教職課程センターでは学生が教員にいつでも相談できる環境を整備

歯学部交換 研修プログラム

中国・北京大学口腔医学院の研修生が来学

歯学部では「国際的な歯科医師を育成する環境」を整え、海外協定校との相互交流に力を入れている。中でも、交換研修プログラムはその大きな特色のひとつであり、在学中に諸外国の歯科医学の現状を学ぶことができる奨学海外研修制度を設けるとともに、研修に参加した学生が海外から研修生を迎え入れることで、継続的かつ相互的な交流が実現できるプログラムとなっている。

同プログラムの一環として、11月14日から16日にかけて、中国の北京大学口腔医学院から研修生6人と歯科専門看護師4人、インストラクター1人を受け入れた。研修生らは15日に坂戸キャンパスを訪れ、草間薫歯学部長と歓談後、本学教員による

講義を受講し、付属病院の見学を行った。昼食時には歓迎パーティーが開催され、研修生と本学学生が互いに写真を撮り合うなど、和やかに交流する姿がみられた。な

お、研修生らの世話役は、昨年8月に北京大学口腔医学院での海外研修に参加した本学在学学生5人が務めており、互いの国の歯科事情について情報交換する姿も多くみられた。また、同日夕刻には理事長主催歓迎会が執り行われ、研修生は日本伝統のハッピー姿で寿司作りを体験し、会場



本学学生と活発な交流を図った北京大学口腔医学院の研修生ら

は大いに盛り上がった。

研修生からは「明海大学は中国でよく知られている大学。付属病院で見学した医療サービスの質の高さと先端技術はとても素晴らしかった」「私たちの交流が今後も続くことを信じている」といった声が聞かれ、実り多い研修となった。

2019年度公開講座

本学では地域社会との交流を目的として、社会の関心が高く本学教員の研究領域とも関連する分野を中心に公開講座を開催している。今年度は10月に、坂戸・浦安の両キャンパスで健康関連の講座を開催した。

坂戸キャンパス

坂戸キャンパスでは、26日に『「年だから…」って思ってませんか？ー早く見つける脳の病気をー』をテーマに開催し、約190人が参加した。講師として、さっぽろ神経内科病院の川島淳副院長を招へいし、脳神経内科の役割や、身体のさまざまな不調と神経難病の関係性、特にパーキンソン病について、具体的な症例を交えながら分かりやすい説明があった。

質疑応答では、参加者から出た身



活発な質疑応答が行われた川島氏の講演

体の不調や悩み、受診の際の心構えなどのさまざまな質問に対し、ひとつひとつ丁寧な回答がなされ、参加者からは「適切な指導を受けるためには、患者自身もある程度予備知識を持つことが大切だと感じた」といった声が聞かれた。

浦安キャンパス

浦安キャンパスでは、27日に「健康長寿のためのカラダづくりと健口づくり」をテーマに開催し、約120人が参加した。講師は、保健医療学部の星合愛子講師、山村有希子講師とRIZAP株式会社の盛一紗季氏が務めた。星合講師と山村講師は「高齢者の口のフレイル（虚弱）を防ごう！」をテーマに講演。口のフレイルとは、口腔機能の軽微な低下や食の偏りなどを含む身体の衰えのひとつで、これ

を予防することは健康長寿と密接に関わっていると説明した。盛一氏からは「明日から実践できる！RIZAPトレーナーによるウェルネスセミナー」をテーマに、健康に重要な食事・運動・生活習慣などについて講演がなされた。また、自宅で簡単にできるエクササイズについて、実践も交えて紹介。参加者からは「オーラルフレイルの重要性を再確認できた」「健康のための運動・食事について、新しい発見があった」などの感想が寄せられた。



すぐ実践できるエクササイズが好評だった盛一氏の講演

海外諸国との活発な交流活動が行われる

11月上旬、浦安キャンパスに海外からお客様が訪れる機会が続き、授業での講演や学生との交流が活発に行われた。6日には台湾の逢甲大学建築学部土地管理学科の学生と教員約30人が研修に訪れ、不動産学部教員による講義を受講。12日には南アフリカ共和国のルーブランド大学から学長と副学長が来学し、ホスピタ

リティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）の学生に対して特別講義を行った。14日にはインドネシアのチブトラ大学から学生28人が訪れ、HT学部グローバル・マネジメントメジャーの学生と交流を行ったほか、同日午後にはスロバキア共和国から駐日特命全権大使がHT学部の授業「ブレゼミ」での特別講演のために訪問した。

実現。大使からは、大会期間中に本学グラウンドなどの施設でスロバキア選手団がキャンプを実施する前に、スロバキア共和国の概要やスロバキア共和国とEU（ヨーロッパ連合）について、スロバキア共和国と日本の関係などについて話があった。

学生からは「スロバキア共和国についてあまり詳しく知らなかったが、大使から直接紹介していただき、興味深く話を聞くことができた」「オリンピックまでに、大使が紹介していた場所に行ってみたいと思う」などの感想があり、最後に学生代表から大使へ花束贈呈が行われた。また、講義のあとには大使と安井利一学長、内苑孝美HT学部長らと懇談。大使からはスロバキア選手団への協力に対して、感謝の言葉をいただいた。

本学では、建学の精神に基づき国際性を養うべく、今後も積極的に国際交流を推進していく。



マリアン・トマーシク駐日スロバキア共和国特命全権大使

スロバキア共和国のマリアーン・トマーシク駐日特命全権大使の講演は、2019年4月に本学とスロバキアオリンピック委員会、浦安市、公益財団法人日本オリンピック委員会が東京2020オリンピック競技大会期間中のキャンプ実施に関する覚書を締結したことを縁に

世界的ブライダルデザイナー桂由美氏が講演

ブライダルコーディネーターとしての基礎を学ぶ、ホスピタリティ・ツーリズム学部の授業科目「ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ⅱ（ブライダルⅡ）」（担当：村田順子講師）で、世界的ブライダルデザイナーの桂由美氏が講演を行った。日本初のブライダルデザイナーとして歩んできた55年間について、ブライダルデザイナーをめざしたきっかけから、日本におけるウェディングドレスを取り巻く時代の変化、自身のブランドの海外進出や海外でのブライダルショーの成功など、今日に至るまでの体験について話があった。

講演の最後には学生からさまざま

な質問があり「大学生のうちにやっておくべきことは」という質問に対して、外国語学習の大切さ、人脈を広げることの大切さに触れたうえで、「美しいもの、素晴らしいものをたく

さん見て感性を磨き、自分を育ててほしい」とメッセージを送った。受講した学生からは「世界で活躍する先生から直接話が聞けて、貴重な体験だった」などの感想があった。



桂由美氏を囲んで

浦安キャンパス

第32回明海祭

浦安キャンパス学園祭「明海祭」が11月2日、3日の2日間にわたり開催された。今回のテーマ「Feel it」には、「来場者の方々に普段とは違う明海大学を感じてもらいたい」「在学生にまだ知らないキャンパスライフがあることを五感で感じてほしい」という思いが込められている。

屋外ステージでは吹奏楽部、軽音楽部、ジャズオーケストラ部などによる演奏が披露され、大きな盛り上がりを見せた。また、留学生連合会による各国料理の販売や文科系サークルの展示・発表など、まさに五感をすべて使って楽しむことができるイベントとなった。

浦安キャンパスの丘の上に広がる芝生には、グランピングなどで使用する大きなテントとハンモックが置かれ、近隣住民によるフリーマーケットが開かれた。夕方からはテントを使ってアウトドアシネマが上映さ

れるなど、これまでの学園祭とは一味違うフォトジェニックな雰囲気を見事に作り出していた。

また、千葉のFMラジオ局bayfmの人気番組『あしたの音楽』『KUSU KUSU』とのコラボ企画として、本学卒業生のアーティスト指田フミヤ、祭nine.によるコラボライブや、イワイガワ、石出奈々子、ペッパーボーイズによるお笑いライブが連日催さ

れ、会場は熱気に包まれていた。

学園祭を終えて、学園祭実行委員長の橋本和海さん（HT学科2年）は、「これまでにない学園祭をめざして準備する中で、携わっていただいた地域の方々や企業の方々には本当にお世話になった。また、参加団体の皆さま、ご来場いただいた皆さま、すべてに感謝の気持ちでいっぱいだ」と話した。



キャンパス内の芝生がくつろぎの空間に

足立区民対象

英語講座を開講

足立区との連携協定に基づく区民講座として「小・中学校の英語教材で学ぶ大人の初級英会話講座」と「外

国人おもてなし語学ボランティアブラッシュアップ講座」を足立区立梅島小学校で開催した。



講座の様子

教職課程センター・地域学校教育センターの百瀬美帆准教授、複言語・複文化教育センターのパトリツィア・ハヤシ教授とタイソン・ロード准教授が講師を務め、英米語学科3年の白井萌さんと内藤卓さん

が学生アシスタントとして活躍。

ブラッシュアップ講座は上級者向けということもあり、3～4人の小グループで「足立区のお薦めの場所」について流ちょうな英語でプレゼンテーションを披露する様子が見られた。

参加者からは「ひとつの課題について話し合っ解決することが面白くてやる気が出た。ぜひまた参加したい」「グループワークなどで自然と英語を話す機会が多くとても勉強になる」「この講座を通して、英語でおもてなしをするという同じ目標をもつ新しい友達ができた」などの感想が聞かれた。

明海大学では、今後もさまざまなテーマで一般市民向けの講座を開講することで地域貢献を行っていく。

「明海大学あけみ英語村2019～小学生異文化交流プロジェクト～」を開催

10月31日、浦安キャンパスで、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村2019～小学生異文化交流プロジェクト～」を開催し、足立区立花畑小学校4年生約60人と外国人留学生・日本人学生約120人が、ハロウィンを英語で学ぶ体験や外国人留学生の母国の遊びを一緒に楽しむなど、異文化理解やコミュニケーションを図った。

ギリシャ出身の外国人留学生から母国の遊びとして紹介された「ハッタポドキニギド」は日本の鬼ごっこに似ている。約10メートル離れた反対側のエリアに逃げるが、その間には「タコ（鬼）」がおり、タッチされると「タコの足」になる。タコの足は、動くことはできないが、近くにきた者を捕まえることができ、最



後のひとりになるまで捕まらなかった者が勝ちという遊びで、大人数で楽しむことができる。

最初、子どもたちは緊張した様子

だったが、すぐに打ち解け、最後には「学校で勉強した英語が通じてうれしかった！」「もっとしゃべれるようになりたい！」「日本の遊びと似ている外国の遊びもあり、楽しかった！」などのコメントを寄せた。

ハロウィンを英語で学ぶ体験の様子

さらに、11月28日には、足立区立中島根小学校6年生約80人と外国人留学生・日本人学生約100人が、ネイティブ教員と学生によるコミュニケーション・アクティビティや外国人留学生の母国の遊びを一緒に楽しむなどの活動を行った。

足立区とは、これまでも本学外国人留学生と小・中学生との交流会を継続的に開催し、生徒たちの英語学習に対する興味関心を高めるとともに、異文化理解を深めるなど、高い教育成果を挙げてきた。

明海大学は、今後も足立区と連携したさまざまな取り組みを通じて、地域学校教育やグローバル人材の育成にも貢献していく。



英語で自己紹介する児童たち

One Dayセミナー 要予約

3月22日(日) 外国語/ホスピタリティ・ツーリズム/保健医療学部

場所：明海大学浦安キャンパス お問い合わせ／企画広報課 TEL:047-355-1101

詳細は本学公式HPをご覧ください。(http://www.meikai.ac.jp)

体育会女子バレーボール部

2020年度関東大学バレーボール春季リーグ6部昇格決定!

女子バレーボール部は2019年4月に創部し、春から関東大学バレーボールリーグに参戦している。

9月22日から10月27日にかけて行われた「2019年度関東大学バレーボール秋季リーグ」女子7部Bでは、1試合目から圧倒的な強さをみせると、1セットも落とすことなく全5試合ストレートで勝利を収めた。迎えた順位決定戦では、同リーグ女子7部Aで首位となった東京立正短期大学と対戦。両者一步も引かない接戦のなか、第1セットを23-25で落とすと、続く第2セットでは、粘りのあるプレーを見せるも25-27で惜しくも敗れた。この結果、本学は7部で2位となり、2020年度春季リーグ6部昇格を決めた。

今回の結果を受け、森野みさき選

手(日本語学科1年)は、「チームのコミュニケーション不足で失点に繋がることがあったので、次年度に向けて改善していきたい。そして、春のリーグでは全勝して5部昇格を決めたい」と次年度への意気込みを語った。



体育会女子バレーボール部

【秋季リーグ(女子7部B)試合結果】

第1日9/22(日)VS 共立女子大学25-3、25-12 VS 芝浦工業大学25-7、25-7

第2日9/29(日)VS 横浜市立大学25-7、25-17 VS 聖心女子大学25-5、25-8

第3日10/6(日)VS 東京家政大学25-15、25-18

順位決定戦10/27(日)VS 東京立正短期大学23-25、25-27

体育会空手道部

第62回関東大学空手道選手権大会で女子団体組手3位入賞!

10月27日、東洋大学総合スポーツセンターで開催された「第62回関東大学空手道選手権大会」で、空手道部女子が団体組手3位の好成績を収めた。同大会の団体組手で本学空手道部女子が入賞するのは初めてのこと。

台風の影響で、当初の予定から日程や会場が変更され、無観客試合となった今大会。例年の雰囲気とは異なる中、本学は1回戦を不戦勝で駒を進めると、2回戦で山梨学院大学、3回戦では駒澤大学と対戦し、それぞれ2-1で勝利。勢いに乗ったまま

挑んだ準決勝では、帝京大学に0-2で敗れたものの、堂々の3位入賞を

果たした。また、今大会で鈴木更彩選手(経済学科2年)が優秀選手賞を受賞した。鈴木選手は、「個人での受賞は大学では初めてなので嬉しい。チームの雰囲気が良く、一丸となって試合に挑めたことや、勝負所で勝て

たことが今回の結果に繋がったと思う」と喜びを語った。



体育会空手道部女子

オープンキャンパス開催報告

浦安キャンパス

入試対策イベントが盛況

浦安キャンパスでは、10月27日に本年度最後のオープンキャンパスが開催された。

すでにAO入試が始まっていることもあり、代々木ゼミナールの現役講師が講義を行う『AO入試対策講座（面接編）』と本学のAO入試独自の科目『理解力診断』の対策講座には多くの来場があった。また、高校

2年生の来場も年々増えてきており、3年生に進級する前に気になる大学をチェックする傾向が強まっている。

今後は、入試相談会やワンデイセミナーといった小規模かつターゲットを絞ったイベントが中心となる。ほかにも平日に教員との個別相談を受け付けるなど、受験生のニーズに応えるプログラムを用意している。

坂戸キャンパス

一般入試に向けて

坂戸キャンパスでは、11月17日にオープンキャンパスを開催。毎年この時期は一般入試対策講座に特化したプログラムを実施しており、受験する予定の高校生が多く訪れる。当日は、河合塾の現役講師による英語と数学の対策講座が行われ、受験生はもちろん保護者も熱心に聞き入る様子が見られた。



浦安キャンパス



坂戸キャンパス

2020年度入試日程

詳細は必ず入学試験要項をご確認ください。資料請求は本学公式HPから。
<http://www.meikai.ac.jp>

浦安キャンパス 外国語学部/経済学部/不動産学部/ホスピタリティ・ツーリズム学部/保健医療学部

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
AO入試	3月期 2/25(火)~3/5(木)	3/15(日)	3/16(月)
一般入試	統一試験 1/6(月)~1/17(金)	2/1(土)	2/7(金)
	A方式 (GMM以外)	2/2(日)・3(月)	2/7(金)
		1次 2/2(日)・3(月)	2/7(金)
	A方式 (GMM)	2次 2/12(水)	2/17(月)
B方式 (GMM以外)	2/5(水)~2/18(火)	3/1(日)・2(月)	3/6(金)
		1次 3/1(日)・2(月)	3/6(金)
B方式 (GMM)		2次 3/11(水)	3/13(金)
大学入試センター試験利用入試 (GMM以外)	A方式 1/6(月)~1/17(金)	1/18(土)・19(日) (大学入試センター試験)	2/3(月) 保健医療学部のみ面接試験
	B方式 2/5(水)~2/18(火)		3/2(月) 保健医療学部のみ面接試験
	C方式 2/25(火)~3/5(木)		3/15(日) 保健医療学部のみ面接試験
大学入試センター試験利用入試 (GMM)	A方式 1/6(月)~1/17(金)	1次 1/18(土)・19(日) (大学入試センター試験)	2/7(金)
		2次 2/12(水)	2/17(月)
	B方式 2/5(水)~2/18(火)	1次 1/18(土)・19(日) (大学入試センター試験)	3/6(金)
		2次 3/11(水)	3/13(金)

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
大学入試センター試験利用入試 (GMM)	C方式 2/25(火)~3/5(木)	1次 1/18(土)・19(日) (大学入試センター試験)	3/13(金)
		2次 3/17(火)	3/19(木)

※ GMM：グローバル・マネジメント・メジャー

■ お問い合わせ 浦安キャンパス入試事務局 TEL 047-355-5116

坂戸キャンパス 歯学部

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
AO入試	3月期 3/6(金)~3/12(木)	3/17(火)	3/24(火)
一般入試	A日程 1/8(水)~1/21(火)	1/26(日)	1/30(木)
	B日程 2/17(月)~2/25(火)	2/29(土)	3/5(木)
一般入試 (センタープラス方式)	A日程 1/8(水)~1/21(火)	1/26(日)	2/7(金)
	B日程 2/17(月)~2/25(火)	2/29(土)	3/5(木)
大学入試センター試験利用入試	A日程 1/8(水)~1/21(火)	1/18(土)・19(日) (大学入試センター試験)	1/26(日) 面接試験
	B日程 2/17(月)~2/25(火)		2/29(土) 面接試験
	C日程 3/6(金)~3/12(木)		3/17(火) 面接試験
			3/24(火)

■ お問い合わせ 歯学部入試事務局 TEL 049-279-2852